

レベル別 日本語多読 ライブラリー

にほんごよむよむ文庫

レベル **2** vol.1 3

クリスマス プレゼント

あした
明日はクリスマス・イブ。でも、
でらとじむにはお金がありません。
ふたり
二人がそれぞれ考えたクリ
すますぶれぜんと
スマスプレゼントは？
あめりか さっか おー・へんりー
アメリカの作家、オー・ヘンリー
の短編。

にほんご よむよむ文庫



これは、日本語を勉強している人のための「読みもの」シリーズです。5レベルに分かれていて、昔話、創作、名作、伝記などいろいろな話があります。レベルごとに言葉や文法が制限されていて、読みやすく書かれています。漢字には全てひらがなが付いていますから、辞書を引かないでどんどん読んでみましょう。

レベル	クラス	語彙数	文字数／1話
0	入門	350	～400
1	初級前半	350	400～1500
2	初級後半	0500	1500～2500
3	初中級	0800	2500～50000
4	中級	1300	5000～10000

にほんご よむよむ文庫 レベル 2

く り す ま す ぶ れ ぜ ん と
クリスマスプレゼント

～ The Gift of the Magi ～

原作（げんさく）：オー・ヘンリー（おー・へんりー）

簡約（かんやく）：栗野 真紀子（あわの まきこ）

挿絵（さしえ）：樋口 たつの（ひぐち たつの）

監修（かんしゅう）：NPO法人日本語多読研究会（にほんご たどく けんきゅうかい）

<監修者紹介>

NPO 法人 日本語多読研究会 (にほんご たどく けんきゅうかい)

とうけんきゅうかい がくしゅうしゃ よ つく もくてき にほんごきょうし
当研究会は、学習者のための「読みもの」を作ることの目的に、日本語教師が
あつ ねん がいつ ほっせく ねん がいつ ほうじん
集まって、2002年1月に発足しました。2006年9月にNPO法人になりました。
「レベル別読みもの」を開発したり、それらを使った「多読」の授業の実践・研
きゅう
究をしたりしています。http://www.nihongo-yomu.jp

レベル別日本語多読ライブラリー (にほんご よむよむ文庫)

[レベル2] vol.1

クリスマスプレゼント ～ The Gift of the Magi ～

2006年 10月 10日 初版 第1刷 発行

2011年 6月 20日 初版 第3刷 発行

原作：オー・ヘンリー (O. Henry)

簡約：栗野 真紀子 (日本語多読研究会会員・日本語教師)

作画：樋口 たつの

監修：NPO 法人 日本語多読研究会

ナレーション：篠原 明美

録音・編集：スタジオ グラッド

デザイン・DTP：有限会社トライアングル

発行人：天谷 修平

発 行：株式会社アスク出版

〒162-8558 東京都新宿区下宮比町 2-6

TEL.03-3267-6864 http://www.ask-digital.co.jp

印刷・製本：株式会社光邦

許可なしに転載・複製することを禁じます。

乱丁・落丁はお取り替えます。

©NPO法人日本語多読研究会 2006

Printed in Japan ISBN978-4-87217-625-4

にほんご よむよむ文庫 レベル 2

く り す ま す ぶ れ ぜ ん と
クリスマスプレゼント

～ The Gift of the Magi ～

原作（げんさく）：オー・ヘンリー（おー・へんりー）

簡約（かんやく）：栗野 真紀子（あわの まきこ）

挿絵（さしえ）：樋口 たつの（ひぐち たつの）

監修（かんしゅう）：NPO法人日本語多読研究会（にほんご たどく けんきゅうかい）

せんきはつやくごねん
一九〇五年のアメリカ、ニューヨーク。

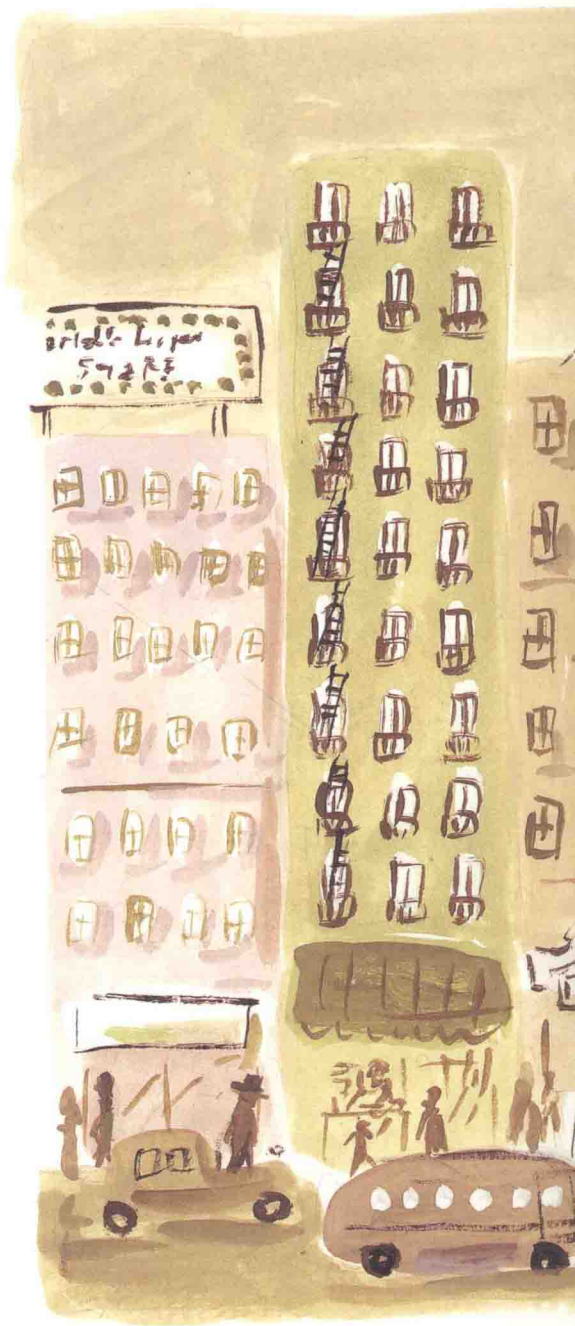
まち
街には、背が高^せいビルがたくさんあります。きれいな店もたくさんあります。

おお
大きなアパートには、お金持^{かねも}ちや有名な人^{ゆめい}たちがたくさん住^すんでいます。

でも、こんなニユーヨークにも、お金持^{かねも}ちじゃない人^{ひと}たちもたくさん住^すんでいます。

そんな人^{ひと}たちは、どんなところに住^すんで、どんなところで働^{はたら}いているのでしょうか。





これは、お金のあまりない夫婦、ジムとデラの話です。

若い二人は古いアパートに住んでいます。部屋は、二つだけです。

部屋には、絵も写真もありません。テーブルの上にも何もありません。

一週間ハドルの安いアパートです。

ジムは、一週間に六日間、朝から晩まで働いて、二十ドルもらいます。

毎日とても疲れます。ですから、家までゆっくり歩いて帰ります。

アパートに着いて、家のドアを開けると、そこには、いつも奥さんのデラが待っています。

ジムの大好きなデラが……。

ジムが帰ってくると、デラは、テーブルに温かいスープとパンを置きます。

そして、きれいな茶色の目でジムを見ます。

ジムもデラを見て、にっこり笑います。デラも笑います。

二人でいると、お金がないことも、疲れていることも、忘れます。



じゅうにがつ さむ ひ
十二月の寒い日のことです。

じむ あさ しごと いえ そうじ せんたく
ジムは、朝、仕事に行きました。デラは、家で掃除と洗濯です。

お でら さいふ も てーぶる うえ かね だ
それが終わると、デラは、財布を持ってきて、テーブルの上にお金を出しました。
ぜんぶ だ
全部出しました。

いちどる はちじゅうななせんと
——ドル八十セセント。これだけ……。

じむ くりすます ぶれげんと か
これでは、ジムにクリスマスプレゼントを買うことができないわ。どうしましょう——
くりすます あした
クリスマスは明日です。デラは困りました。



でら かかみ み
デラは鏡を見ました。

かがみ なか
鏡の中には、でらの

かな かお
悲しい顔がありました。

そして、とてもきれいな

ちやいろ なか かみ
茶色の長い髪が……。

じむ
ジムは、いつも

い
言っていました。

ぼく
「僕は、

でら かみ だいす
デラの髪が大好きだ。

ほんとう
本当にきれいだ」

ジムとデラには、大切なものが二つありました。

一つは、このデラの髪です。

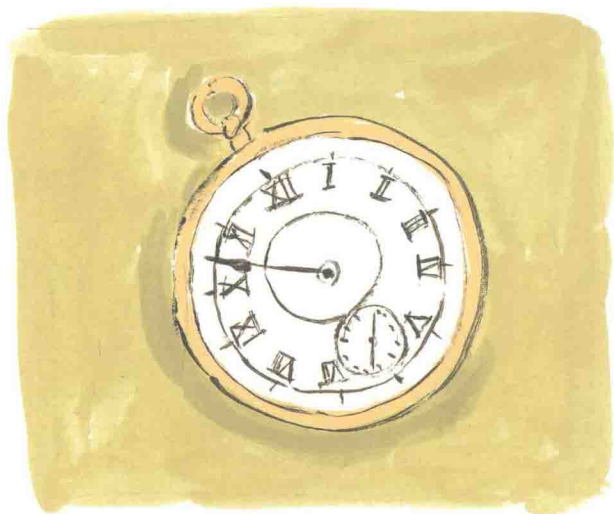
そして、もう一つは、ジムの金の時計でした。

金の時計は、ジムがお父さんからもらった

ものです。とてもきれいな時計です。

ジムは、いつでもどこへでも、

この金の時計を持っていきました。



で
ら
デラは、^{かがみ}鏡の中の自分の髪を長い時間見ていました。

それから、^{いそ}急いで^{こーと}コートを着て、^{ぼうし}帽子をかぶって、^{そと}外へ出ていきました。



デラは、「一番街」まで走っていきま^{いちばんがい}した。

そこには、きれいな店^{みせ}がたくさんあつて、
みんなクリスマス^{くりすます}の買^かい物^{もの}をしています。

デラは、ある店^{みせ}の前^{まえ}で止^とまりました。

髪^{かみ}を^か買^かいます

デラは、その店^{みせ}に入^{はい}っていきま^{はい}した。



でら ぼうし
デラは帽子をとって、

みせ
店のおばあさんに聞きました。

わたし
「私、髪を売りたいんですが……」

でら
おばあさんは、デラのきれいな髪を見て、
い
言いました。

にじゅうとる
「そっだね……。二十ドルだね」

でら
デラは言いました。

き
「じゃあ、切ってください」

でら
デラは、ゆっくり椅子に座りました。





でら にじゅうとる は、二十ドルをもらって、
 ぼうし みせ をかぶって店を出ました。
 ごさんじ
 午後三時でした。

でら みせ は、いろいろな店を
 み ある 見て歩きました。

—— ジム ぶれぜんと にどんなプレゼント
 を か 買いましょう ——

それから、二時間……。

デラは、ある店の前で止まりました。

店の前のショーウィンドーに

時計の鎖がありました。

「これがいいわー」

それは金の鎖でした。

デラは思いました。

——これをジムの金の時計につけると、

とてもいいわ——

二十一度ドルでした。

デラは、すぐにその鎖を買って、

急いで家に帰りました。





でら いえ
 デラは家に着くと、
 くりすます りようり
 クリスマスの料理を

つくりました。

「できた。これでいいわ」

でら かかみ み
 デラは鏡を見ました。

かかみ なか
 鏡の中には、

とても短い髪^{かみ}のデラ^{でら}が

いました。

—— ジム^{じむ}は、この髪^{かみ}を見て

何^{なん}と言^いうでしょう——